

令和8年度

消防ポンプ自動車CD-1型仕様書

(大川市消防団第1分団第4部)

大川市役所 地域支援課

消防ポンプ自動車CD-1型 仕様書

第1 総則

- 1 本仕様書は、大川市が令和8年度に整備する消防ポンプ自動車CD-1型（以下「車両」という。）のシャシ及び艤装その他必要な事項について定める。
- 2 本車両は、本仕様書に定めるもののほか、日本消防検定協会の検定に合格したものを具備するとともに、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準等の関係法規に適合し、緊急自動車として適合するものでなければならない。また、車両の製作は、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、ISO9001の品質管理、ISO14001環境マネジメント認証取得メーカーにおいて製造が行なわれていること。

3 契約の条件

大川市契約規則によるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 本契約に生じた疑義は、全て大川市の解釈によるものとする。
- (2) 受注者は、車両の納入までに発生したいかなる事故に対しても、その責任を負うものとする。
- (3) 保証期間は、納車後12ヶ月間とし、その他の積載器具及び機材については、各メーカーの公表した期間とする。ただし、設計、製作及び機械の不良に起因する故障又は障害等が発生した場合は、保証期間後でもこれを無償で修理又は不良品の交換を行うものとする。
また、受注者は、車両の6ヶ月定期点検整備を行うものとする。
- (4) 納入にかかわる費用のうち、車両登録手数料、自賠責保険（24ヶ月）、重量税、リサイクル料は、大川市が負担するものとし、登録諸経費、廃車諸経費等のその他の経費は見積額に含めるものとする。
- (5) 車両及び装備、付属品等は全て新規製品のものであること。
(別表1～2のとおりとする。)
- (6) 完成車は、令和9年3月31日までに納入すること。
- (7) 納入場所 大川市役所（福岡県大川市大字酒見256番地1）
- (8) 完成検査 当車両完成後、納入時に次の項目に掲げる検査を大川市が行う。

- ①ポンプ性能検査
- ②走行安全性検査
- ③艤装検査（取付状況と塗装仕上がり）
- ④作動検査（装備品及び取付品の作動状況）
- ⑤積載品、付属品検査（数量、規格）

4 製作承認

受注者は、次の関係書類を作成提出し、大川市の製作承認を得ること。

- (1) 製作工程表
- (2) 製作承認図
- (3) 使用材料明細書
- (4) 荷重計算書

- (5) 日本消防検定協会による、受託評価が合格している旨を証明できる書類
- (6) その他大川市が指示するもの

5 仕様変更

製作承認後やむを得ない事情のため仕様変更の必要が生じた場合は、直ちに大川市に連絡するとともに、必要な指示及び承認を受けなければならない。

6 受注者は、納入前に緊急自動車届出に必要な次の書類を各3部提出すること。

- (1) 譲渡証明書
- (2) 艤装後の車両前後、両側面のカラー写真（デジタルカメラによるカラープリント可）
- (3) 車両艤装三面図（平面、側面、後面、寸法記載のあるもの）
- (4) 改造自動車等届出書
- (5) 改造自動車等審査結果通知書
- (6) 排出ガス検査終了書
- (7) 改造概要説明書
- (8) 散光式赤色回転灯、小型警光灯、電子サイレン、モーターサイレン関係図面

7 完成車納入時の提出書類

受注者は、納入に際し次の書類を提出すること。

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| (1) 車両整備解説書 | 1部 |
| (2) 消防ポンプ検定協会の鑑定写し | 2部 |
| (3) 消防ポンプ試験成績表 | 2部 |
| (4) 艤装電気配線図 | 2部 |
| (5) 車両、ポンプ及び機器等の取扱説明書 | 2部 |
| (6) 購入価格内訳明細書 | 1部 |
| (7) 一般財団法人日本自動車車体工業会が定める環境基準適合ラベル | 1部（車体に貼付） |
| (8) その他本市が指示する書類 | |

8 登録の代行

車両の製作完了後、九州運輸局陸運支局長の行なう新規登録検査の手続きを代行し、当該検査を受けて合格させるものとする。

第2 主要諸元

1 シャシ

- | | |
|-----------|---|
| (1) シャシ型式 | 消防専用シャシ
普通消防自動車CD-1型
2. 75t～3.00tクラス |
| (2) 寸法 | 全長 5,480mm以下（ホースカーの車輪部分を含む）
全幅 1,900mm以下
全高 2,500mm以下 |
| (3) エンジン | 総排気量2,900cc以上 |
| (4) 駆動方式 | 4×2 AT車 |

- (5) ホールベース 2.46m ~ 2.85m
- (6) キャブ ダブルキャブ (4枚ドア)
- (7) 乗車定員 8名 (荷台後部座席2名含む)
- (8) 使用燃料 軽油
- (9) バッテリー 24V100AH以上
- (10) タイヤ 前輪-標準タイヤ 後輪-標準タイヤ (Wタイヤ)

2 本車両の艤装、取付け品及び取付け装置

別表1のほか、次のとおりとする。

- (1) エアコンディショナー
- (2) パワーステアリング
- (3) 集中ドアロック
- (4) フォグランプ
- (5) 電動格納ミラー (助手席側)
- (6) アンチロックブレーキシステム
- (7) 時計
- (8) ラジオ
- (9) サイドバイザー (全席)
- (10) フロアマット (全席)
- (11) マッドガード

3 本車両の積載品及び付属品

別表2のとおりとする。

第3 消防ポンプ

動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令 (昭和61年自治省令第24号) に定められるA-2級ポンプとする。

1 主ポンプ

- (1) 高圧二段バランスタービンポンプ又は一段ボリュートポンプ
 - 規格放水性能 0.85MPaにおいて2.0m³/min以上
 - 高圧放水性能 1.4MPaにおいて1.4m³/min以上
- (2) 主ポンプ材料は軽量且つ環境リサイクルの高いアルミ製とすること。

2 真空ポンプ

- (1) 真空ポンプは四翼以上の偏心回転式ポンプ又はピストン式ポンプとすること。
- (2) 真空ポンプ本体は注油装置を必要としない完全オイルレス構造とする。
- (3) 真空ポンプの動力伝達機構は、電磁クラッチにより動力を伝達する構造とし、手動レバーまたは押しボタンを設けるものとする。
- (4) 自動揚水装置による操作パネル、押しボタン式スイッチを、左右両側板に設けるものとする。
- (5) 故障時に直接真空ポンプに動力を伝導できる、別系統の非常時用手動スイッチまたは手

動レバーを車両両側に設けるものとする。

- (6) 駆動装置は円滑に作動し、低速回転でも十分な性能が発揮でき、かつ、揚水完了後は自動停止するものとする。

3 吸水口

75mmボールコック（ストレーナー付）をポンプ室両側に各1個設け、軽量吸水管（75mm×10m）を常時接続する構造としエゼクター装置を取り付けること。

4 中継口

65mmボールコック（ストレーナー付）中継口をポンプ室両側に各1個設け、中継用媒介金具を取り付けること。

5 吐水口

65mmボールコック付吐水口をポンプ室両側に各2個設け、吐水口媒介金具を取り付けること。（1番及び2番吐水口はS字型自在継手とする）

6 ポンプ操作装置及び計器盤

ポンプ室側の操作が容易に出来る適当な位置に設けること。また、夜間の操作上有効な計器灯（LED）を取り付け、スイッチを設けること。

第4 車体構造及び艀装

車体の構造及び艀装は、堅牢で耐久性があり、かつ防蝕、防水性及び耐水性が十分であること。また、付属品の積載装置は、走行中の振動その他により移動又は破損等を生じないよう安全確実に固定でき、かつ、容易に積み下ろしができること。

艀装は、基本図を基礎として行い不都合が生じた場合は、大川市の承認を受けて改善すること。

1 キャブ艀装

- (1) 車体キャブは、鋼板製ダブルキャブとし左右に各2枚のドアを設け、乗降に安全な大きめのステップ及び手摺りを取り付けること。
- (2) 座席のシート地は、メーカー固有のものとし、厚手の透明ビニールカバーを施すこと。
- (3) 乗車定員分のシートベルトを取り付けること。
- (4) 泥除け（ゴム製）を全車輪に取り付けること。
- (5) 各配線のボディー貫通部には、専用金具を使用すること。
- (6) キャブ内部に、次のものを設けること。

①バッテリーメインスイッチ（スイッチパネル部）

②サンバイザー（運転席及び助手席）

③スイッチパネル（天井前方中央付近 各スイッチは文字又は記号で表示すること）

④LED式室内灯（天井中央部 独立スイッチ付）

⑤手摺りパイプ（S環5個 ステンレス製 後席前方）

⑥収納ボックス（後席下部）

⑦キャブ天井の内張は、電装品及び配線等の点検及び修理が容易に出来る構造とすること。

⑧消防無線傍受機用（既存分）取付金具及び消防無線傍受機取付（助手席前付近）

(7) キャブ前部に次のものを設けること。

- ①消防団章 (前面フロントパネル)
- ②フォグランプ (2個 LED 前面フロントパネル)

(8) キャブ上部に次のものを設けること。

- ①散光式赤色回転灯 (屋根前部)
- ②標識灯 (赤色回転灯一体型及び前照灯と連動式とすること)
- ③モーターサイレン、スピーカー

モーターサイレンは、赤色回転灯内蔵型とし、スイッチパネルに設けたスイッチを押すことにより作動するよう設けること。また、運転手が操作可能な位置にサブスイッチを設けること。

- ④消防無線傍受機アンテナ (新規 屋根に直接取付 キャブ天井内張り内に配線)

(9) キャブ天井の補強

天井の裏面を鋼板で強固に補強し、散光式赤色回転灯、消防無線傍受器アンテナの取り付け部は、特に強固な補強を施すこと。

2 荷台艙装

キャブ後部に堅牢で、耐久性に富んだ構造のポンプ室、ホース収納ボックス及び隊員席を設けること。

(1) ボディー側板は、一般構造用圧延鋼材 (SS) で、上端周辺を外側に折り曲げ加工し各ステップ及びポンプ室天板、ボディー内床板はアルミ縞板を張ること。

(2) ポンプ室側板は密閉型とし、左右いずれかに点検用扉を設けること。

(3) 燃料タンクはシャシフレームの標準位置のままに艙装をすること。

(4) バッテリーはスライド式で点検等が容易に出来るように設置し、プラス側の端子には短絡を防止するための保護カバーが取り付けられ、極性を逆にして取り付けられないための措置が講じられていること。

(5) ホース収納ボックス

①ポンプ室上部の両サイドに、ホースボックス (高さ50cm×横幅92cm×奥行45cm) を、上開放式 (あげ開き) により取り付けること。また、両ホースボックスの間は、器具収納ボックスを設け、後部荷台から器具の積み下ろしができる構造とすること。

②各ボックス内には、内部を有効に照明できるドアスイッチ付の照明灯 (LED) を積載品の取り出しに支障のない位置に設け、保護枠を設けること。又、スイッチはスイッチパネルに設けること。

③ホース収納ボックス上部の周囲に2段手摺りを設けること。

(6) ポンプ室の後部は荷台とし、両側に各1名分の座席、背もたれ及び手摺りを設け厚手の透明ビニールカバーを施すこと。又、はね上げ式シートの固定金具を取り付け、夜間の作業がしやすいよう、作業灯 (LED) を設けること。

(7) 右側ホースボックス前方上部付近及び荷台後部鳥居型手摺り左側柱上部付近に回転・伸縮及び全方向回転可能なサーチライト (LED) を各1個取り付けること。スイッチは、ライト付近に設けること。

(8) 荷台左外側に次のものを取り付けること。

- ① 薫口 2本 (側板上端部付近)
- ② 消火栓開閉金具 (大箱ねじ回し 1.5m 吸水管収納部付近)
- ③ 消火器 (吸水管収納部中央付近)
- ④ 吸管枕木 1個 (吸水管収納部付近)
- ⑤ 吸管スパナ (吸水管収納部付近)

(9) 荷台右外側に次のものを取り付けること。

- ① 鋼管製折梯子 (側板上端部)
- ② スタンドパイプ (1, 200mm 媒介付 吸水管収納部上部)
- ③ 管そう 1本 (吸水管収納部中央付近)
- ④ 車輪止 2個 (吸水管収納部付近)
- ⑤ 吸管枕木 1個 (吸水管収納部付近)
- ⑥ 吸管スパナ (吸水管収納部付近)

(10) 荷台後部内側に次のものを取り付けること。

- ① 斧 (右側面前方)
- ② 両口ハンマー (左側面)
- ③ エアーフォームノズル (左側面前方)
- ④ 泡原液設置枠 (1缶分の枠またはフックを設け、上部をバンド等で固定できること)
- ⑤ 管そう 1本 (リヤーステップ上左側)
- ⑥ 消火栓用金テコ (リヤーステップ上左側)
- ⑦ 金テコ (リヤーステップ上右側)
- ⑧ 剣先スコップ (リヤーステップ下部)
- ⑨ ホースカー (ステップ右側 立掛け式で積載)
- ⑩ 作業灯 (器具収納ボックス上部)
- ⑪ 泡原液 (泡原液設置枠上)

※荷台後部右側板に操法用として管そう取付け用の穴を開け、ボルトを設けること

(11) 最後部左右両側上部に小型警光灯を設けること。また、吸管伸長作業の妨げにならないよう設けること。

(12) 後部ナンバープレートの位置は、右側上部とし、小型警光灯の妨げにならない位置に設け、ナンバープレートの破損を防ぐため保護プレートを設けること。

(13) ホースカー

- ① 65mmホース (20m) が最大8本収納可能とすること。
- ② 二又分水器及び無反動管鎗を取り付けること。
- ③ 車輪はチューブ入りタイヤでブレーキ付とすること。
- ④ 前部に安全で操作が容易なスタンドを設置すること。

第5 塗装及び文字記入

- 1 車体及びホースカーは特殊化学液にて十分錆落としのうえ、塗装に必要な下地処理を行い

消防色（朱色）アクリルウレタン塗料で3回以上吹き付け塗装を施すこと。又は、これと同等以上の塗装を施すこと。

- 2 車体には金線引きを施すこと。
- 3 車体下回り、キャブ下回り及びフェンダー内部は、シャシブラックで塗装を施すこと。
- 4 ホース収納ボックス及び荷台床面は塗装を施すこと。
- 5 ドア部両側面に、金文字黒縁取りで「大川市消防団」と左書きで記入すること。
- 6 後部ドア下部左側面に、白文字（反射テープ）で「1-4」と前書きで記入し、右側面側は左書きで記入すること。
- 7 標識灯両面に、黒文字で「1-4」と記入すること。
- 8 ホースカーの底面に、白文字で「1-4」と記入すること。
- 9 燃料補給口直近に、白文字で「軽油」と記入すること。
- 10 書体は丸ゴシック体とし、サイズは別途指示する。

第6 その他

- 1 各装備器具等の取り付け及び取り外しに必要な器材一式は、全て精選された耐久性に富むもので、走行時離脱しないよう堅固な装置を施すとともに、各操作等に支障とならないように取り付けること。
- 2 この仕様書に示されていない事項でも運用上、操作上当然必要と認められる事項については、これを具備しなければならない。
- 3 受注者負担で、旧車両の廃車手続き及び引き取りをすること。

規格付属品

No.	品名	数量	単位	備考・規格・型式
1	ポンプ圧力計	2	個	
2	ポンプ連成計	2	個	
3	散光式赤色回転灯	1	式	大阪サイレン NP-ML-VK2M-A2 又は同等品以上
4	小型警光灯 (赤色回転灯と連動式)	2	式	大阪サイレン LFA100S 又は同等品以上
5	電子サイレンアンプ	1	式	大阪サイレン TSK-D252 又は同等品以上、マイク付き
6	後部作業灯	1	式	10W (LED、前照灯と連動式)
7	照明灯 (サーチライト)	2	個	40W (LED)
8	後退警報器	1	式	自動解除付
9	標識灯	1	式	赤色回転灯一体型 (前面・後面に1-4と記入)
10	電動モーターサイレン	1	式	赤色回転灯内蔵型及び蓋付足踏みスイッチ
11	キャブチルト装置	1	式	
12	真空・揚水表示灯	2	個	左右各1個
13	不凍液注入装置	1	式	
14	ポンプ操作灯	2	個	左右各1個 (LED)
15	消防用ガバナー	1	式	
16	自動揚水装置	1	式	
17	ウォータークーラー	1	式	
18	オイルクーラー	1	式	
19	フォグランプ	2	個	標準装備の場合不要 (LED)
20	各器材等の取付金具	1	式	
21	消防無線傍受器取付金具	1	式	
22	けん引フック	2	個	車両前後
23	消防団章	1	個	150mm
24	サイドバイザー	1	式	各ドア
25	泥除け	4	個	ゴム製
26	LED室内灯	1	個	独立スイッチ付
27	路肩灯	1	式	車両両側 (保護枠含む)

積載品及び付属品

番号	品名	数量	単位	形式及び規格等
1	吸管	2	本	75m×10m 軽量ソフト吸管
2	吸口ストレーナー	2	個	
3	吸管ストレーナー	2	個	プラスチック製
4	吸管塵よけ籠	2	個	プラスチック製（白または黄）
5	吸管ガイドロープ	2	本	10mm×15m クレモナ製
6	吐水口媒介金具	2	個	65mmメスネジ×65mm差込オス
7	中継用媒介金具	2	個	65mmメスネジ×65mm差込メス
8	吐水口媒介金具	2	個	65mmメスネジ×65mm差込オス （S字型自在継手）
9	ホースカー	1	式	
10	鋼管製折梯子	1	台	折畳式架先大鉤付 3.6m
11	吸管枕木	2	個	ゴム製
12	消火栓用金テコ	1	個	日の出パール28型
13	消火栓開閉金具	1	個	大箱ねじ回し 1,500mm
14	吸管スパナ	2	個	
15	管鎗	2	本	YONE PP-65A・EXS・L 又は同等品以上
16	無反動管鎗	1	本	YONE PL-65A ホースカー積載用
17	可変噴霧ノズル	3	個	
18	とび口	2	本	グラスファイバー製
19	金テコ	1	本	
20	剣先スコップ	1	本	
21	車輪止め	2	個	ゴム製
22	二又分水器	1	個	マルチ分水管（65/65・50）
23	拡声器	1	個	メガホン型（TS-633-R）
24	消火器	1	本	ABC粉末20型
25	ポンプ工具	1	式	
26	ホースブリッジ	1	式	
27	自動車用工具	1	式	標準工具
28	タイヤチェーン	1	式	金属製
29	スペアタイヤ	1	本	標準タイヤ（ホイール付）
30	スタンドパイプ（媒介付）	1	式	1,200mm
31	エアフォームノズル	1	本	
32	斧	1	本	
33	両口ハンマー	1	本	
34	泡原液	1	缶	20L YONE フォレックスパン・S